

下水道への膜処理技術導入のためのガイドライン〔第 2 版〕策定に向けて

基本方針

国土交通省の実証事業や NEDO「省水型・環境調和型水循環プロジェクト」の成果等をもとに、下水道への膜処理技術導入のためのガイドライン（以下、「ガイドライン」という）第 1 版を充実させる。

あわせて、膜処理に関する最新の知見を収集整理し、ガイドライン第 2 版に反映させる。

主要な観点

1) 改築に併せた MBR 導入

- ・名古屋市において実施している改築 MBR 実証事業や、実証事業とは異なる型式を含めた MBR の導入可能性について、維持管理面やコストの視点を含めて検討し、ガイドライン第 1 版（主に第 4 章）の記載を充実させる。【第 1WG 担当】

2) MBR を用いた処理水再利用

- ・NEDO プロジェクトの事例について、維持管理面やコストの視点を含めて検討し、ガイドライン第 1 版（主に第 5 章）の記載を充実させる。【第 2WG 担当】
- ・愛知県において実施しているサテライト MBR 実証事業や、実証事業とは異なる型式を含めた MBR の導入可能性について、維持管理面やコストの視点を含めて検討し、ガイドライン第 1 版（主に第 5 章）の記載を充実させる。【第 1WG 担当】

3) その他

- ・膜処理導入について国内と海外の事例における導入方式及び維持管理情報を収集し、重要な知見を整理して、ガイドライン第 1 版記載内容の充実をはかる。【国総研・下水道機構担当】